



香港事務所長  
山奇 智幸

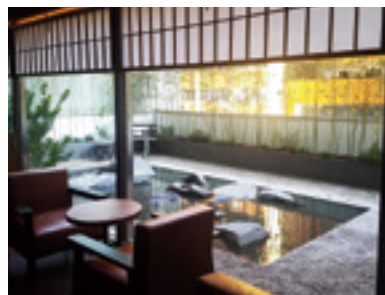
## MIZUNARA THE LIBRARY

### 1 会社概要

2015年2月に開業したMIZUNARA THE LIBRARY(ミズナラ ザ・ライブラリー)は、官公庁やオフィスが軒を連ねる中環、一大商業地区の銅鑼湾の中間にある湾仔に店を構える香港では数少ない日本式のバーである。福岡県古賀市出身のバーテンダー・遠藤真彦氏がマネージメントする落ち着いた内装の店内は正に「大人の隠れ家」。壁面には日本のウイスキーをはじめ、世界各地から遠藤氏が取り寄せた約800銘柄のボトルが並べられており、店名の「THE LIBRARY(図書館)」そのものだ。外のテラスも日本庭園として整備されており、日本の「おもてなし」を細部にわたって表現。オープンから4年、落ち着いた雰囲気、細やかなサービスを提供する日本式バーの存在は、口コミで広がり、連日、地元客を中心に賑わっている。



遠藤 真彦 代表



日本式にこだわった店づくり

り、まったくのゼロからの店づくりに取り組んだ。「カクテルに必要な純氷が手に入らないため、大型の冷凍庫を持ち込んで3日間かけて氷を作るといった水づくりに始

まり、スタッフの教育、出店場所など苦難の連続で今日を迎えた」と、遠藤氏は開店当時を振り返る。

### 3 香港での事業展開と今後の展望

香港ではウイスキー中心のカクテルが人気を集めているという。また、福岡県産の日本酒や焼酎を使ったカクテル、あまおうや桃、ぶどう、八女茶などをベースにしたカクテルも積極的に提案している。遠藤氏は、「香港における観光大使的な役割。旅行で福岡・九州を訪れたと声を掛けられるお客様も増えてきている」と笑みを浮かべる。遠藤氏は、香港で開かれたインターナショナルワインスピリッツで、ジェットロが日本酒や焼酎をPRする際、ステージでパフォーマンスを行ったほか、年4回開かれる香港バーテンダースクールの講師を務めるなど、香港での後進育成にも力を注ぐ。「食をはじめ、日本が目目されている今こそ、きちんとしたものを伝えていきたい。日本と香港の間でバーテンダーの交換留学など積極的に取り組んでいきたい」と、香港と日本の懸け橋としての活躍が期待される。



### 2 海外進出の経緯

福岡市中央区大名でバーテンダーをしていた遠藤氏に、投資家ビジネスを手掛けているインド人オーナーが「香港に日本式のバーを出したい。やってみないか」とのオファーがあったのがきっかけ。西南学院大学在学中から福岡市内のホテルのアルバイトからバーテンダー世界に入った遠藤氏は、「約20年のキャリアを考え、世界で挑戦したい」との思いで、香港でのバーテンダー人生を送ることを決意。日本と香港では設備やシステムが異なることもあ



インターナショナルワインスピリッツでのパフォーマンス

### 企業概要

企業名	MIZUNARA THE LIBRARY
代表者	遠藤 真彦
所在地	4 <sup>th</sup> Floor of Kiu Yin Building, 361-363 Lockhart Road, Wanchai, HK

TEL	+852-3571-9797
URL	<a href="http://www.mizunarathelibrary.com/">http://www.mizunarathelibrary.com/</a>
従業員数	5名
事業内容	日本式バー事業

お問い合わせ 情報取引推進課 TEL: 092-622-6680